

重点課題

【課題1】「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。・・・第一回は、弁当です。」について説明したものとして適切なものを選択する。 1一 正答率 61.4% (全国正答率 64.9%)

【課題2】「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く。 1四 正答率 61.4% (全国正答率 61.4%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもたせるために、理由や事例を挙げてキーワードを入れて書く、決められた字数で書くなどの文章を書く活動を全学年で取り組む。

【課題2】封筒の書き方を理解して書かせるために、封筒の書き方について説明して、実際に書かせる指導を行う。

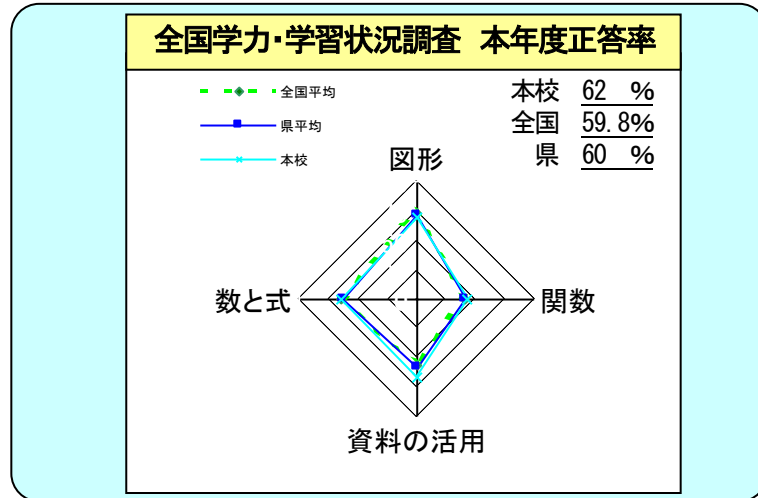
※ 小中一貫した取組については、叙述に即して文章を読み取ったり、根拠を明確にして自分の考えをまとめたりする活動を多く取り入れる。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月          | 12月 | 1月 | 2月            | 3月 |
|-------|----|-----|--------------|-----|----|---------------|----|
| 学年・方法 |    |     | 3年生<br>期末テスト |     |    | 2年生<br>学年末テスト |    |
| 目標値   |    |     | 75%          |     |    | 75%           |    |
| 実施後数値 |    |     | 80.0%        |     |    | 70.5%         |    |

| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月              | 3月 |
|-------|----|-----|-----|-----|----|-----------------|----|
| 学年・方法 |    |     |     |     |    | 1・2年生<br>学年末テスト |    |
| 目標値   |    |     |     |     |    | 75%             |    |
| 実施後数値 |    |     |     |     |    | 73.5%           |    |

来年度に向けて

「課題発見・解決学習」において、主体的な学びになるように授業を行う。そのためには、まず根拠を明確にして自分の考えをもたせ、相手に分かるように伝える授業を仕組んでいく。



**重点課題**

【課題1】 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。(式やグラフを用いて、2つの冷蔵庫の総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する)  
 設問6 (2) 関数 正答率38.6%、無回答率4.5%  
 (全国正答率34.7%、全国無回答率11.6%)

【課題2】 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。(ヒストグラムの特徴を基に説明する)  
 設問8 (2) 資料 正答率50.0%、無回答率13.6%  
 (全国正答率40.8%、全国無回答率21.3%)

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)**

【課題1】 携帯の使用時間と料金、ガソリンと料金の関係など、身近にある関数の関係を教材として取り入れる。しかし、生徒は料金やどのような仕組みで料金が発生しているかの具体を知らない場合が多い、そのため、どのように使用されるとどのような料金となっているのかの仕組みを具体的に教え、理解させるなどの工夫を行う。

【課題2】 資料のばらつきからその特徴を捉え、的確に判断するには多くの資料から模範となる考え方を共有する必要がある。そのため、多くの資料に触れさせ、個人思考での考えを全体で共有し、その考えの根拠も共有することで、資料ごとにその特徴を説明することのできる力の育成を図る。  
 ※ 小中一貫した取組については、「資料を活用する力」を育てるために、様々な情報や資料から、必要なものを取捨選択する活動を多く取り入れる。

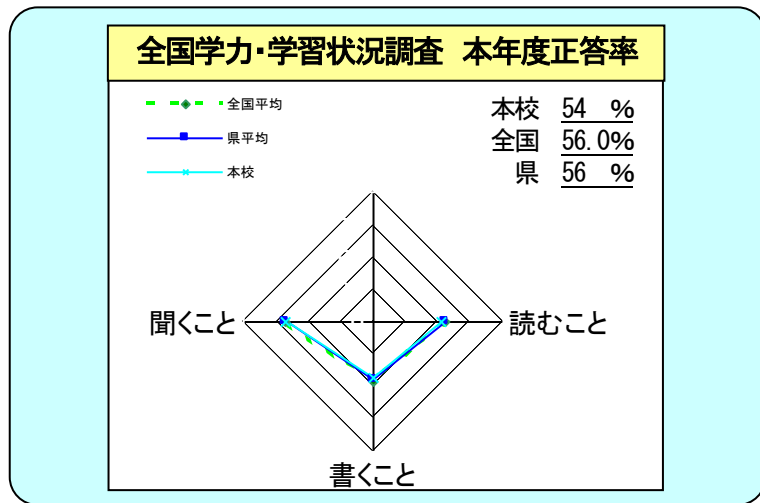
| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月          | 12月 | 1月 | 2月            | 3月 |
|-------|----|-----|--------------|-----|----|---------------|----|
| 学年・方法 |    |     | 3年生<br>期末テスト |     |    | 2年生<br>学年末テスト |    |
| 目標値   |    |     | 75%          |     |    | 80%           |    |
| 実施後数値 |    |     | 60.0%        |     |    | 83.0%         |    |

| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月              | 3月 |
|-------|----|-----|-----|-----|----|-----------------|----|
| 学年・方法 |    |     |     |     |    | 1・2年生<br>学年末テスト |    |
| 目標値   |    |     |     |     |    | 80%             |    |
| 実施後数値 |    |     |     |     |    | 85.0%           |    |

**来年度に向けて**

身近にある数学の題材に触れさせ、そこから主体的な学びや交流から思考が深まるような学習展開を行う。また、教材や資料の特徴を把握させる課題解決内容を行い、思考力・表現力の向上を図る。



**重点課題**

【課題1】与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く。(一般動詞一人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる。)

問題9 (2) ② 正答率15.9% (全国正答率28.9%)

【課題2】与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く。(3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる。)

問題9 (3) ②正答率15.9% (全国正答率32.9%)

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)**

【課題1】会話文の空所補充問題は、誰が話しているか、何について話しているかなど、状況を把握して問題を解くよう指導する。話の流れをつかみ取る練習を繰り返しさせる。

【課題2】英文を書くときに、主語の人称や時制、語順に気をつけて書くよう指導する。作文をするときに、語順ヒントカードや、作文で気をつけるチェックリストなどを準備して、問題に取り組みさせる。

※ 小中一貫した取組については、ALTの授業を活用して、聞いたり話したりする活動を増やし、英文を定着させ、書く活動につなげる。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月          | 12月 | 1月 | 2月            | 3月 |
|-------|----|-----|--------------|-----|----|---------------|----|
| 学年・方法 |    |     | 3年生<br>期末テスト |     |    | 2年生<br>学年末テスト |    |
| 目標値   |    |     | 50%          |     |    | 40%           |    |
| 実施後数値 |    |     | 73.0%        |     |    | 20.0%         |    |

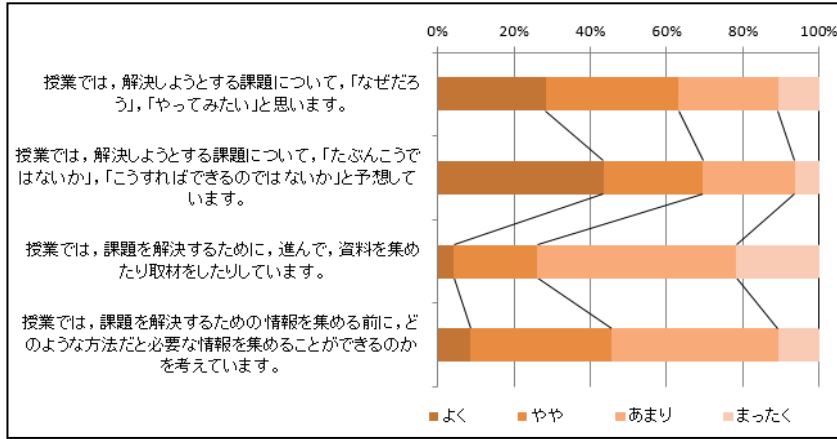
| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月          | 12月 | 1月 | 2月            | 3月 |
|-------|----|-----|--------------|-----|----|---------------|----|
| 学年・方法 |    |     | 3年生<br>期末テスト |     |    | 2年生<br>学年末テスト |    |
| 目標値   |    |     | 50%          |     |    | 40%           |    |
| 実施後数値 |    |     | 53.0%        |     |    | 35.0%         |    |

**来年度に向けて**

英文を書くときに、主語の人称や時制、語順に気をつけて書くよう継続して指導する。作文をするときに、語順カードや、作文で気をつけるチェック項目などを黒板に掲示するなどして問題に取り組みさせる

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査)

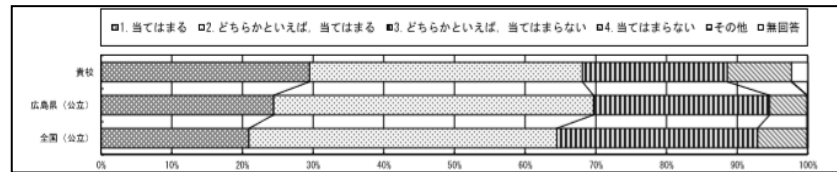
(1) 生活・学習



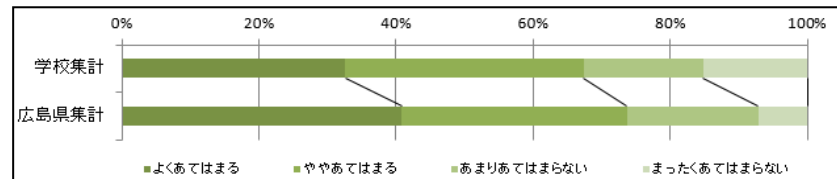
|       | 生徒の回答についての課題 (現状値)  | 今後の具体的な取組の内容  | 学年 | 目標値 | 検証方法    | 検証時期 | 実施後数値 |
|-------|---|---|----|-----|---------|------|-------|
| 基礎・基本 | 「授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。」では肯定的評価が県平均より16.0%低かった。(26.0%) | 課題をきちんと把握させ、課題解決のための情報収集の学習活動をこれまで以上に取り入れる。                 | 2  | 50% | 生徒アンケート | 2月   | 62.8% |
| 全国    | 「学校の授業時間以外に普段1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか」の項目では、2時間以上勉強している生徒が2.3%だった。(全国4.9%)  | 決まった時間に学習を始め、受験に向けて学習時間の確保をするよう指導していく。また、内容においても充実するよう指導する。 | 3  | 15% | 生徒アンケート | 2月   | 44.6% |

(2) 教科

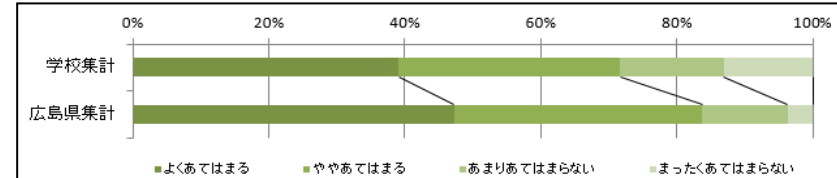
国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫しています



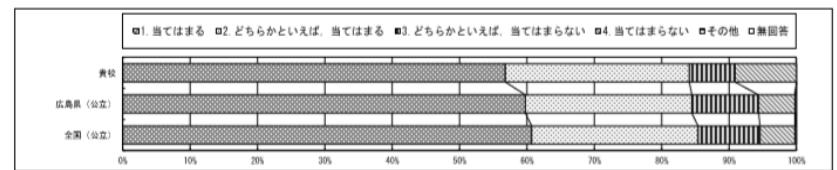
数学の授業の中で、学んだことの振り返りをしています



理科の授業では、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったか考えています。



英語の授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つと思いますか。



|    | 生徒の回答についての課題 (現状値)   | 授業改善の方向性や具体的な取組  | 学年 | 目標値 | 検証方法    | 検証時期 | 実施後数値  |
|----|--|--|----|-----|---------|------|--------|
| 国語 | 基礎・基本<br>「国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。」の項目に課題がある。(肯定的回答 56.5%)                                     | 授業のまとめや振り返りを行ってはいいるが、振り返りを自分の言葉で書かせるなど工夫をしていく。               | 2  | 70% | 生徒アンケート | 2月   | 79.1%  |
|    | 全国<br>「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫していますか。」の項目に課題がある。(肯定的回答 68.1%) | 文章を書くときや、話したりするときは、根拠を見付けさせ、文章の組み立てを考えさせるような授業を展開していく。       | 3  | 75% | 生徒アンケート | 2月   | 89.3%  |
| 数学 | 基礎・基本<br>「数学の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。」の項目に課題がある。(肯定的回答 67.4%)                                     | 授業のまとめや振り返りを行ってはいいるが、授業での学びを活かした問題などで振り返れるようなまとめ問題などを活用していく。 | 2  | 80% | 生徒アンケート | 2月   | 75.8%  |
|    | 全国<br>「数学の勉強は好きですか。」の項目に課題がある。(肯定的回答 54.6%)  | 身近な教材に触れながら、生徒が主体性をもって課題発見解決に取り組むことができるような授業展開を実施する。         | 3  | 70% | 生徒アンケート | 2月   | 59.6%  |
| 理科 | 基礎・基本<br>「理科の授業では、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったか考えています。」の項目に課題がある。(肯定的回答 71.7%)                        | 実験・観察の後には毎時間考察を行っているが、一層機会を増やすよう取り組む。                        | 2  | 80% | 生徒アンケート | 2月   | 100.0% |
| 英語 | 基礎・基本<br>「英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。」に課題がある。(肯定的回答 65.3%)                                 | 英語で交流をする時間を増やし、会話に必要な表現などを学習させ、活用していく。                       | 2  | 75% | 生徒アンケート | 2月   | 76.7%  |
|    | 全国<br>「英語の授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つと思いますか。」に課題がある。(肯定的回答 84.1%)                                   | 学習していることが将来の生活につながっていることを認識させ、役に立ったと思うような体験をさせるよう取り組む。       | 3  | 85% | 生徒アンケート | 2月   | 97.8%  |